



2023年5月
第737号

日本基督教団 平塚教会
発行人 平塚教会
編集人 中山洋司
〒254-0045 平塚市見附町6-18
電話 ○四六三(32)八八三一



任職式

平塚教会牧師 北川一明

同じように、奉仕者たちも品位のある人でなければなりません。…この人々もまず審査を受けるべきです。その上で、非難される点があれば奉仕者の務めに就かせなさい。

(テモテへの手紙 I 三・8〜10)

五月第一日曜日の礼拝では、役員任職式を行います。教会は、普通は教会学校長、教会学校教師の任職式もやります。平塚教会でも私が着任した二〇一七年は教会学校教師任職式を行ったと記憶しています。

任職式では、任用される人たちが神と教会に対して誠実に務めを果たすことを誓います。役目に就いてもらった教会員の側は、大切な務めを自分たちに代わって担っていたからです。務めに就いた人たちを支えることを誓います。

オルガニストや聖歌隊長、任職式は、行うのが望ましいですが、聖歌隊隊員の任職式を行う教会は日本では少ないようです。会食準備奉仕者の任職式などは、普通は行いません。

教会の諸奉仕は、各会員のそれぞれの賜物を活かして行われます。自分の賜物が役に立てば、それだけ喜びと感謝も大きくなります。ただ賜物は誘惑と隣り合わせです。私は入信前、音楽、造形芸術、創作演劇の三分野で表現活動をしていました。「自己表現」は神よりも「自己」が優先されるので信仰と対立する傾向があることを、入信後に痛感しました。また賜物は人を高慢にします。リーダーシップの賜物が派閥争いを生むこともあります。奉仕者任職式を行えば、その都度、神と教会のための奉仕であることを確認でき、賜物の弊害を少なくできます。それなのに食事準備奉仕者任職式をやる教会はほとんどありません。それは教会が礼拝に特別な位置を与えているからです。礼拝に直接仕える役目の場合に任職式を行います。

平塚教会教会学校長は、今年度はたまたま役員です。教会学校は、役員会の下で運営されています。役員と

目次

任職式	牧師 北川一明 …1	教会ニュース 新しい年度を迎えて …3
		編集後祈 …4

して既に任職を受けている人が教会学校長になるときは、任職式を行う必要はないと判断しました。

教会学校教師、オルガニスト任職式を行っていないのは、任職のための研修をしていないからです。任職式は、司式者が式文を読み上げ奉仕者が約束の言葉を讀み上げれば、形の上では成立します。しかし形骸化した儀式は、奉仕をかえって不健全にします。

たとえば：幼稚園は今、保護者のかたがハンドベル演奏を楽しめるように計画しています。礼拝でハンドベルの「演奏」があれば、やる人の意欲もあがるでしょう。伝道のきっかけにもなるでしょう。では、どのタイミングで礼拝中にハンドベルを組み入れれば良いでしょうか。演奏技術が向上したらではありません。形だけの任職式を済ませただけでもありません。奏楽が神への奉仕になって初めて礼拝にデビューできます。

冒頭の聖句の少し前には「**信仰に入つて間もない人ではいけません**」とあります。それでは「**高慢になって悪魔と同じ裁きを受けかねない**（6節）」からです。

子どもが好きだからというだけでは教

会学校教師は務まりませんし、鍵盤楽器が得意だからではオルガニストになれません。礼拝に関係する諸奉仕には信仰が必須です。任職式を行う環境を整えたいと願っています。

それでも聖歌隊の隊員の任職式はしない教会がほとんどで、聖歌隊には未受洗者が入る場合もあります。それは教会学校教師を手伝う未受洗の高校生、大学生スタッフと同じ位置付けです。

正しく運営されている聖歌隊や教会学校教師会の中に信仰に入つて間もない人や求道中のかたが混じるのは、教会として嬉しいことです。求道者のかたにとってはもちろん、信仰を先導する教会員にとっても良い信仰の養いになるからです。

役員については、教会学校教師やオルガニストとは意味が違います。平塚教会の役員会では役員研修の時間を設けています。が、仮に研修がなくとも役員は任職を受けます。神の司る選挙によって神が役員を選んだと信じるからです。役員会は、奉仕希望者が任職に足るかどうかを審査する側です。そのために牧師と共に教会学校教師

やオルガニストの研修を企画します。

教会附属幼稚園の新任教諭就任式は、キリスト教信仰に基づいて行われます。教会組織が行う場合と園組織で行う場合とあります。幼稚園運営が信徒の「奉仕の業」であれば教会で任職式をします。幼児教育のスキルのあるプロを「雇用」して公教育として行う場合は幼稚園とするのが妥当です。

二〇二三年度幼稚園新入職員入職式を、教会の礼拝堂をお借りしながら、幼稚園組織として礼拝形式で実施しました。園長兼任牧師は、新任のみなさんが神に守られ導かれて喜びのうちに仕事を続けられることを祈りました。

※今二〇二三年度より教会予算（諸集会費）で役員会の昼食を出していただくことにしました。役員のみなさんには、教会のための重要な奉仕の務めを教会員を代表して果たしていただきます。教会員みなで役員会をお支えください。

教会ニュース

新しい年度を迎えて

赤・白・黄・紫・青・桃……様々な花が教会と幼稚園の庭に咲き誇っています。ジーンと眺めながら『天国の花園は、このよなのかなー』と一人で空想して楽しんでいます。そして花と花の間からは、淡い緑の雑草が私も見えてくださいと体を乗り出してきます。それぞれがそれぞれの個性を醸し出して、見飽きることはありません。平塚教会の二〇二三年度がたくさんのお花達と一緒に始まりました。

◎幼稚園・教会関係者 顔合わせ会行われる

4月9日イースター礼拝の後、幼稚園側からは、幼稚園理事・幼稚園保護者会長・副会長ご家族、幼稚園主任・副主任・顧問、アトリエ・フタバ担当者、教会からは、教会総務担当役員・教会学校長、そして牧師が出席して、初めての幼稚園と教会の顔合わせ会が行われました。

初めての会合でしたので、自己紹介を含めながら私のイースターという短いメッセージを一人一人が話し、歓談に移りまし

た。今後、幼稚園と教会が協力し合いながら歩んで行けるスタートになればと願っております。

◎二葉幼稚園の新年度が始まりました

新しい気持ちで二葉幼稚園の二〇二三年度が始まりました。

始業式では、主任先生の「つぼみぐみさん手を挙げて！」のかけ声に、誰一人手を挙げませんでした。全員が一年上に進級した意識が高いのですね。



入園式は、4月6日に行われ、18名(内1名は年中)の園児が入園しました。

「ちいさい おててを くみあわせ
こうして おいのり いたしましょう
かみさま よいこに してください」
の賛美の声に囲まれて、入園式が始まりました。

幼稚園の先生方は、保護者の方がどの角度から我が子の晴れ姿が見えるようにと、子どもの対面に座席を用意しました。先生方の細やかな気遣いの一面です。緊張していた新入園児達も、担任の先生

方の手遊び歌になると本領を発揮し、お兄さんお姉さん達と一緒に身体を動かし、歌いながら楽しんでいました。

幼稚園はスタートしました。神様の恵みと癒しがこの一年を通して、一人一人の子ども達に、そして保護者及び教職員の皆様にも豊に注がれますようにと祈りました。



二葉幼稚園教職員の紹介

〔園長〕北川一明

〔主任〕若林由美

〔副主任〕青山純子

〔ゆり組〕若林由美／伊東未来

〔きく組〕青山純子／佐藤圭恵

〔つぼみ組〕長塚百枝／吉田 光

〔顧問〕中山洋司

「フリー」青木恵美／磯崎紀子／

岩原 泉／中山香奈子

「託児」島村洋子

「事務」篠木由紀子／近田淳子／

山田美千代

「ワゴン車運転」坂田耕治

◎イースターエッグ



平塚教会

ドイツ

素敵で愛らしいイースターエッグが配られました。沢山の卵を茹で、一つ一つを丁寧に包装し作ってくださった皆様に感謝いたします。

日下部明美姉が、ドイツで購入したイ

スターエッグが、談話室に展示してありました。鶏の卵ではありませんが、きれいな彩色を施してあり、本物と見間違えう素晴らしい芸術作品です。

◎教会総会で決定したこと

コロナ禍が少し沈静してきましたが、第9次感染がそろそろ始まる心配があります。役員会では、コロナ感染に十分留意しながら、教会総会を開催することとしました。

そのため、資料はお読みいただいていることを前提に、役員選挙を行った後に議案審議を行い、昼食は取らず礼拝終了後に開催しました。出席者数は34名、一時間程の総会でしたが、新たに、「今年度活動計画」と「新役員・教会学校長」が決まりましたので掲載します。

「今年度の活動計画」

教会…礼拝を厳かに守ることと教会の温か度で楽しい交わりを両立させて、信仰の喜びを表し次代に伝えましょう。教会の交わりについては、教会にふさわしいありかたや感染対策に留意しつつも、新型コロナウイルス以前にもまして盛んになるよう努めます。

伝道…教会員家族。関係者の他に、平塚地

域の伝道対象としては幼稚園保護者を神から特別に託された隣人と捉え、園児、保護者が礼拝または親子礼拝に出席する下地を整えましょう。

標語…全体…信仰の振起・継承

教会…教会活動の回復

伝道…幼稚園保護者伝道

課題聖句…「ひとつのことを主に願ひ、それだけを求めよ」詩篇27篇 4節 a

「二〇二三年度役員（※責任役員）」

※棟方邦彦（書記・営繕）

※星野俊則（総務）

松田隆司（財務・牧会・営繕）

※李 三悦（伝道・営繕）

富田光子（会計）

※日下部明美（礼拝）

庄司幸夫（伝道・教会学校長）

※中村寛志（会計・地区担当）

※中山洋司（広報）

編集後祈

今年度の方向が定まりました。コロナに翻弄された三年間でしたが、コロナに負けない教会形成のスタートの年、主と共に皆と共に前進しましょう。

（編集子）